

**ANALISIS STLISTIKA MAJAS PERBANDINGAN DALAM NOVEL  
*KOUKETSU NO JUNKYOUSHA* KARYA NARITA YOSHIMI DAN  
SAKURABI HASHIGO**

**REVINA GITA CHRISTINA ANANDA SIHOMBING  
43131520190076**

**STBA JIA**

**2023**

**ABSTRAKSI**

Penelitian ini adalah untuk mengetahui majas perbandingan yang terdapat dalam novel *Kouketsu No Junkyousha* karya Narita Yoshimi dan Sakurabi Hashigo menggunakan teori gabungan dari Henry Guntur Tarigan dan Sakura Gozen, serta teori dari Uti Darmawati untuk mengetahui makna lugas dan makna kias dari majas perbandingan tersebut. Metode penelitian yang digunakan adalah metode kualitatif-deskriptif. Hasil analisis data penelitian sebanyak 20 data adalah, 18 data mengandung majas simile, 3 data mengandung majas metafora dan 6 data mengandung majas depersonifikasi. Seluruh data tersebut, masing-masing memiliki makna lugas dan makna kias yang sesuai dengan teori Uti Darmawati. Dari hasil analisis tersebut, maka dapat dipastikan bahwasannya terdapat majas tiga jenis perbandingan dalam novel *Kouketsu No Junkyousha* karya Narita Yoshimi dan Sakurabi Hashigo, yaitu majas simile, majas metafora dan majas depersonifikasi, serta masing-masing dari majas tersebut memiliki makna lugas dan makna kias.

Kata Kunci : *Kouketsu No Junkyousha*, Majas, Majas Perbandingan

成田良美と桜日梯子の小説 「紅血の殉教者」における比較比喩の文体論  
の分析

REVINA GITA CHRISTINA ANANDA SIHOMBING

43131520190076

STBA JIA

2023

要旨

本研究は、成田良美と桜日梯子の小説「紅血の殉教者」に含まれる比較比喩を知るため、Henry Guntur Tarigan と桜御前の組み合わせた理論を使用し、Uti Darmawati の理論でその比較比喩の直截的な意味や比喩的な意味を分析することである。使用される研究方法は、記述的な定性的方法である。研究に分析した 20 データのうち、18 データには直喩があり、3 データには隠喩があり、6 データにはデパーソニフィケーションがある。Uti Darmawati の理論の通り、データに比較比喩は全部、直截的な意味や比喩的な意味を持つ。分析の結果から、成田良美と桜日梯子の小説「紅血の殉教者」には、直喩、隠喩、デパーソニフィケーションという 3 種類の比較比喩があり、それぞれが直截的な意味や比喩的な意味を持っていることが理解できる。

キーワード：比較比喩、比喩、紅血の殉教者

## 第一章

### 初めに

#### A. 背景

現在、小説を読むひとが増える。小説の形態は、短編小説と比較するとより長いフィクションの散文。小説には文に作られ、文体を持つ。文体は口頭または書面で自分の考え、アイデア、ストーリー、および興味深いイメージを伝える方法。文体を勉強する学問は文体論である。文体論は、作家または著者が作品や文章で物語を伝える際の文体について議論する言語学の一つの分野。文体には比喩がある。比喩 (Majas) は文体の一部であり、または比喩的な文体学の別名だ。本研究は、成田良美と桜日梯子の小説『紅血の殉教者』における比較比喩やその比較比喩の直截的な意味や比喩的な意味を分析することである。

#### B. 問題の定式化と問題の焦点

1. 成田良美と桜日梯子の小説『紅血の殉教者』における比較比喩は何だろうか。
2. 成田良美と桜日梯子の小説『紅血の殉教者』における比較比喩の直截的な意味や比喩的な意味は何だろうか

## 第二章

### 理論的な基礎

#### A. 文学作品

文学作品は、文学をその構成要素とする作品のことを指す。著者または文学者は、文学作品を生み出した人々を指す言葉。Al-Ma'ruf (2017, 8) によれば、文学作品は創造的な世界であり、著者が自らの社会的環境を反映させて作品に昇華させたものだ。Sumaryanto (2019, 1) は文学作品は、文学者の生活に対する観察や感じたことを表現し、それを作品に再度語りかけたものであると主張している。



## B. 小説

小説の形態は、短編小説と比較するとより長いフィクションの散文。語源的には、小説はイタリア語の「novella」に由来し、小さな新しいものを意味します (Santoso、2019、17)。Susiaty (2020、177) による、「小説」という言葉自体はラテン語の「Novellus」に由来し、「新しい」という意味を持っている。これはまた、詩と演劇が存在した後に新しい文学の形態である小説を説明している。

## C. 『紅血の殉教者』の小説

『紅血の殉教者』は成田良美によって書かれ、桜日梯子によってイラストが描かれた小説。この小説は2020年9月10日にリブレパブリッシャー・ジャパンから出版されました。『紅血の殉教者』の登場人物とキャラクターは、桜日梯子の漫画『抱かれない男1位に脅されている』のキャラクターコンセプトを使用している。この漫画は2014年7月31日に初めて出版された。

成田良美と桜日梯子の協力関係は、桜日梯子の漫画がアニメシリーズになった際に築かれました。成田良美は、桜日梯子の漫画『抱かれない男1位に脅されています』から主に西條高人と東谷准太といった重要なキャラクターのコンセプトを取り入れ、これらを『紅血の殉教者』の主人公として使用しました。

## D. 言語学

言語学は言語について研究する学問の一つ。語源的には、言語学という言葉はラテン語の「lingua」（舌）から来ており、言語を意味する。言語学という言葉自体は世界中のいくつかの言語で同様の言葉が存在する。例えば、フランス語では、言語学は「langue」と「langage」という言葉に相当し、イタリア語では「lingua」、スペイン語では「lengua」に相当する (Patada、2015、2)。

Mulyani は、言語学は人間の言語について包括的に研究する学問であると述べている (2020、6)。これは言語学が言語について詳細に議論し、その成り立ち、使用法などを扱っていることを意味する。ゆえに、言語学は形態（フォーム）、機能（ファンクション）、意味（ミーニング）、価値（バリュー）、そして

て言説（ディスコース）に関連するすべての要素を、ある言語に対して科学的に研究する学問であると言える（Yenda、2018、35）。

### E. 文体論

文体論（ぶんたいろん）は、作家または著者が作品や文章で物語を伝える際の文体について議論する言語学の一つの分野。Nurgiyantoro（2017、72）は、文体論は言語のスタイルについて議論する学問であると述べている。良い言語のスタイルは、多くの読者に魅力的で好まれる文学作品を構築できる。文学者や文学作家によって使用される言葉の美しさは学び取ることができ、これは文体論の研究分野。

### F. 文体

文体は、口頭または書面で自分の考え、アイデア、ストーリー、および興味深いイメージを伝える方法。スタイル、または作家が彼らの作品にストーリーや文章を伝える方法として理解されることもある。スタイルは文学作品において大きな影響を持ち、適切で上手く使われると読者を引きつき、作者の文章の意図を理解しやすくすることができる。

Triningsih（2018、7）によれば、スタイルはまた、「style」という用語でも知られ、ラテン語の「stilus」という言葉から来ている。これはロウソクの板に書くために使用される道具だ。スタイルは文学作品の形成において、単語（ディクシ）の選択を決定するプロセスだ。単語、フレーズ、節が適切に使われるかどうかを決定する。

### G. 比喩

比喩（Majas）は文体の一部であり、または比喩的な文体学の別名だ。Sucipto（2018、12）は、文体と比喩（Majas）の定義が間違っているわけではないと述べている。なぜなら、文体は作者が彼らの作品でのアイデアや概念を説明する方法として、相対的に同じ意味を持っているからだ。桜（2021）のウェブサイト「比喩とは『たとえる表現方法』という意味だ。相手にわかりやすく伝えるために『ある事柄をほかの事柄に置きかえて表現する技法』。」と述べている。

## H. 比較比喩

Gunawan (2019, 11)によれば、比較比喩は、ある物事を他の物事と比較または並べるために使用される比喩であり、同じであるとする、超える、または他の物事でそれを代替する方法で行われることがある。Agustinalia (2018, 2)も、メタファー比較は他の人に特定の印象や影響を与えるために行われる比較の文体の比喩であると述べている。

## I. 直截的な意味と比喩的な意味

意味とは何かについての「意図」を指す。Darmawati (2019, 8)によれば、意味は話し手や作者が言語形式に与える理解であり、話し手や作者は使われる単語や文を意味を持たせることで、聞き手や読者が聞き手や作者の意図を理解し、対象について学びや理解を得ることができるようにする。本研究で研究者が使用する二つの意味の種類は直截的な意味と比喩的な意味だ。直截的な意味は単語や文の本来の意味であり、他の意味やニュアンスを含まない意味だ (2019, 20)。

### 第三章

#### 研究方法

##### A. 研究方法

本研究では、研究者は質的・記述的研究法を使用しました。質的・記述的研究は、データを分析するために理論を使用し、分析されたデータを記述的な言葉や説明を用いて提示する研究方法。質的研究は文学作品の要素、文学作品自体、著者、読者、および人文科学の研究対象である関連するすべての対象を調査するための適切な研究方法であり、深い理解が必要な解釈と意味を扱う (Semi, 2012, 29-30)。

##### B. 研究手順

本研究では、まず、研究者は文学領域で発生している問題を探し出し、それを研究の基盤となる定式化として使用した。本研究で見つかった問題とその



定式化は、研究者がこれまで読んできた様々な先行研究から得られました。そして、この問題の定式化に答えるために、研究者は他の研究者による関連する様々な情報源や、文学作品、言語学、文体、メタファー、特に比喩の文体について述べられた様々な理論を読み、調査しました。そして、研究者は適切な研究方法を決定し、特定の情報源からデータを調査するのを支援する方法を見つけた。

### C. データ収集

本研究で使用されたデータ収集の方法は文書化とアクティブリスニングの自由な会話の二つ。文書化は書籍、記事、新聞などのメディアからデータを収集する方法だ。アクティブリスニングの自由な会話とは、ソース（本研究では文書）からデータを見つける方法で、ソース（文書）の内容を注意深く読み取り、そのデータを収集し、研究のために利用する方法（Semi、2012、207）。フリートークはセミが述べたアクティブリスニングの技術を補完する高度な技術だ。Semi（2012、208）によれば、フリートークとは、研究者が書かれたメディアからデータを収集する技術で、相手との会話（面接）や他の人との会話は存在しない方法だ。

### D. データ分析

本研究は、成田良美と桜日梯子による小説『紅血の殉教者』のデータを、ヘンリー・グントウル・タリガンの比喩的な文体の理論を用いて分析した。研究者はこの小説での比喩をアクティブリスニングの方法で特定した。データはヘンリー・グントウル・タリガンとサクラ・ゴーゼンの理論に基づいて比喩の種類に分類された。その後、研究者はそれぞれの比喩の種類が理論とどのように一致するかを分析し、各比喩の直訳的な意味と比喩的な意味を記述的に説明しました。

## 第四章

### データ分析

#### A. データ 1

「やっぱり、神はいないんだな．．．」

こぼれ落ちた声を蹴り飛ばすように、力強い声が聞こえた。

「いないなら、なんだってんだ」

このデータには 1 つの比喩、つまり比喩の一種である「simile (シミリー)」が含まれている。この比喩は太字で印刷された文に含まれている。この比喩は「ように」という言葉が含まれている。ヘンリー・グントウル・タリガンとさくらごぜんが述べた理論に従う「simile (シミリー)」と呼ばれることができる。2023 年 7 月 4 日にアクセスした日本語オンライン辞書 [Weblio](#) によると、「蹴り飛ばす」の意味は「蹴る」「強く蹴る」「足を使って何かに触れる」という意味だ。その意味から、「蹴り飛ばす」は常に蹴る活動や足を使い、何かに触れる活動と関連していることがわかります。しかし、上記の文には蹴る活動や足を使い、何かに触れる活動を示す明確な指示はなく、代わりに音に関連している。

これを踏まえると、上記の文の端的な意味は、大きな声が物理的に足を持ち、ジュンタンが表現したつぶやきの言葉を蹴り飛ばす、ということになる。しかし、「のように」という言葉が比喩的な標識として使用されているため、「蹴り」という言葉は答える、応答するという比喩的な意味を持つ。したがって、上の文の比喩的な意味は、「そのつぶやきに強い声が反応した」ということになっている。

#### B. データ 4

「おまえのその命、俺のために使え。盾となり刃  
となって、俺を守れ」

このデータには、比喩品詞と非人格化品詞の 2 種類の比較品詞が含まれている。比喩的な比喩表現は太字の文にある。この比喩表現は、「ような」、



「ように」などの直喩的な意味を持つ言葉を使用する要素が含まれていないため、比喩的な比喩表現と呼ぶことができる。ヘンリー・グントゥール・タリガンとさくらごぜんにより提示された理論に従っている。

2023年7月5日にアクセスした Goo 日本語辞書サイトによれば、「盾」は敵から身を守るために使用される円盤状の物体を指し、インドネシア語では「盾」と呼ばれることがよくある。また、同じく 2023年7月5日にアクセスした Mojinavi ウェブサイトでは、「刃」は刀の鋭い端を意味し、インドネシア語では「剣」を意味する。これらの物体はどちらも無生物である。

上記の意味の説明を踏まえると、端的に言えば、高人は准太を無生物、つまり盾と剣にすることになる。予定されている盾と剣が後に人間である准太の体から作られる場合、盾と剣は准太の皮膚や骨から作られる可能性がある。

### C. データ 7

ウサカは女性の死体のそばにしゃがみ、顔をのぞきこんだ。血走った目を開いて、牙を剥く獣のように歯を剥き出しにし、その口元にはべったりと大量の血がついている。

このデータには2つの比喩の種類があります。1つは「シミリー」、もう1つは「非人格化」です。シミリーの比喩は太字で印刷された文に含まれている。これらの比喩は「ように」という言葉が含まれているため、「シミリー」と呼ばれることができる。非人格化の比喩もまた、太字で印刷された文に含まれています。具体的には、「牙を剥く獣）」という表現がある。

上記の比喩は、「... 牙を剥く獣のように...」という文の中にある。この文は「牙」、「剥く」、「獣」の3つの単語から成り立っている。2023年7月5日にアクセスした日本語オンライン辞書 Goo によると、単語「牙」の意味は、大きくて鋭い歯で、特に哺乳動物、特に肉食動物としてよく見られ、インドネシア語では「taring」と呼ばれることもできる。2023年7月5日にアクセスした日本語オンライン辞書 Goo によると、単語「剥く」の意味は、何かの皮、殻、またはその他の覆いを取り除くこと、またはインドネシア語では

「menunjukkan」という意味であることができる。2023年7月5日にアクセスした Mojinavi ウェブサイトによると、単語「獣」の意味は、野生動物、体に毛が生えている動物、またはインドネシア語では「hewan buas」として解釈されることができる。上記の単語を組み合わせると、日本語での比喩は「...牙を剥く獣のように...」となります。

上記の文章の「...のような」という表現は、仮定形や比喩の指標です。もし文中で「のような」を使用しない場合、文は「...ウサカはその女性の赤い目を開け、そして牙をむく獣のように歯をチェックした...」という風になる。ここでの「...獰猛な動物のような歯をチェックした」という文は、直訳すると、「獣が歯を見せてチェックした」という意味。この文は、獣が獲物を襲って食べる準備をしている様子を表している。

この意味を踏まえると、上記の文章の端的な意味は、宇坂が女性の死体の横にしゃがみ、その死体の赤い目を確認し、どこからともなく牙を剥く獣の歯を宇坂が確認するシーンを表していることになる。ウサカを攻撃するか、女性の死体を食べるか。しかしながら、「のように」という比喩の指標が使われることで、「獣が歯を見せている」という文は、「一般的な人間の歯の牙よりも大きくて鋭い牙を示している」という比喩的な意味を持つ。

それゆえ、上記の文の比喩的な意味は、「ウサカが女性の死体の隣にしゃがみ、その顔を観察している。ウサカはその女性の赤い目を開き、そして一般的な人間の歯の牙よりも大きい鋭い牙を持つ歯をチェックする。女性の死体の口周りにはたくさんの血が見えた」という意味を持っている。

## 第五章

### 結論と提案

#### A. 結論

1. 成田良美と桜日梯子による小説『紅血の殉教者』のプロローグから第3章までで使用されている比喩は、直喩、隠喩、そしてデパーソニフィケ

ーションである。それぞれが直截的な意味や比喩的な意味を持っていることが理解できる。

2. 成田良美と桜日梯子による小説『紅血の殉教者』は同性愛の恋愛物語を描いた大人向けの小説であったが、しかし、読者に特定の効果をもたらす比喩の使用が含まれており、より理解しやすいため、読者は小説を楽しむことができると思われる。

## B. 提案

日本語の小説に含まれる様々な比喩を探求するため、より包括的な研究が必要。研究者は、さらなる比喩とその意味を分析するために研究の範囲を拡大することができる。また、STBA JIA 図書館は、日本語文学の学生をサポートするため、日本語の比喩に関する書籍の収集を増やす必要がある。

